

令和7年度 日本語教師養成・研修推進拠点整備事業 成果報告

中部ブロック(北陸地域) 金沢大学

事業の目的

北陸の状況

- 代表的な外国人散在地域だが、その割合は意外に多い。
(石川2.04%、富山2.56%、福井2.84% ※ 2025年6月末推計)
- 製造業が盛んで、少子高齢化と人口減少に伴い、在住外国人の増加が見込まれる。
- 日本語教育に携わる人材が慢性的に不足している。
- 特に外国人児童生徒に対する支援について検討する必要がある。

事業の目的

- **北陸地域でのネットワークの構築**
- 4つの部会（教員研修専門部会／ニーズ調査検討専門部会／教育実習・インターンシップ調整専門部会／外国人児童生徒の学習等サポートについての連絡会議）を設置し、**関係者間のネットワークを基盤とした北陸地域における日本語教育の推進拠点を整備**することで**課題の解決に向けた連携体制を構築**する。

北陸地域日本語教師養成・研修連絡協議会

運営委員会

(令和5年度当初は準備会)

Plan,
Action

中核機関：金沢大学

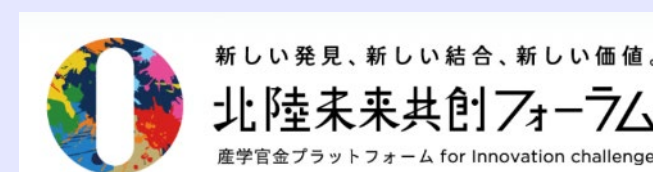
金沢大学人間社会学域国際学類は北陸地域において最も多くの日本語教師を養成してきた日本語教師養成の中核であり、子どもから大人まで国際的な活動と地域の活動のどちらの日本語教育にも対応してきた

Do

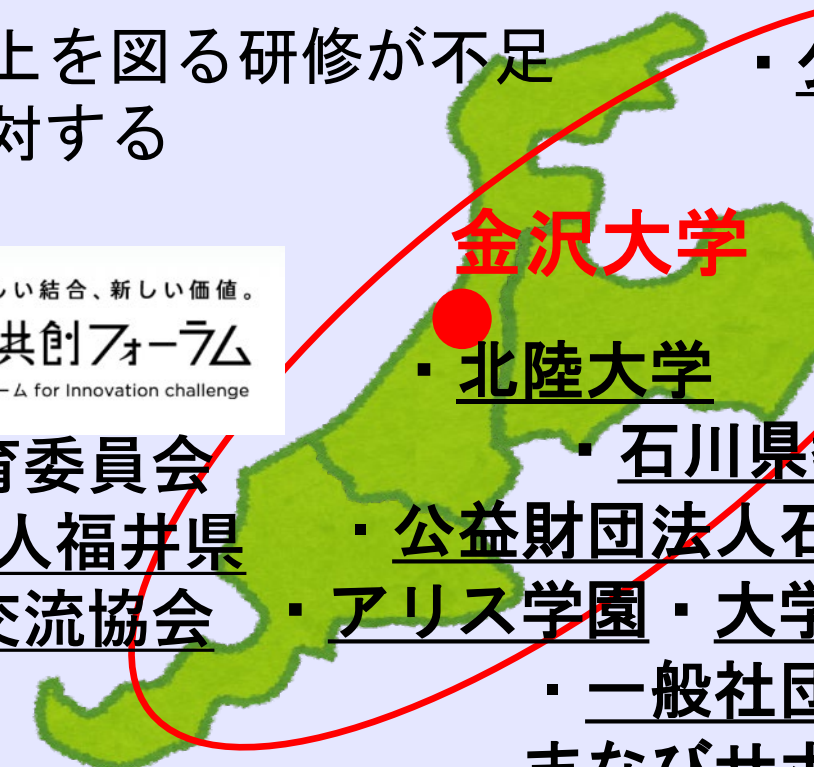
【中部ブロック北陸地域の課題】

- ・小さな外国人集住地域が散在し、今後も人口増加見込みだが全地区で日本語教師が不足
- ・研修機関の少なさから、現役教師の質の向上を図る研修が不足
- ・学校の授業等についていけない児童生徒に対するサポートが不足

- ・富山大学国際機構
- ・富山県教育委員会
- ・公益財団法人とやま国際センター



- ・福井県教育委員会
- ・公益財団法人福井県国際交流協会



金沢大学

・北陸大学

・金沢学院大学

・石川県教育委員会

・公益財団法人石川県国際交流協会

・アリス学園・大学コンソーシアム石川

・一般社団法人日本語

まなびサポート北陸 ほか

Check

外部評価委員会

教員研修
専門部会

【アウトプット】研修の実施、新制度に対応した日本語教育の円滑な実施

ニーズ調査
検討専門部会

【アウトプット】日本語教師の養成・確保の課題検討、必要な専門人材確保、適切な配置のためのニーズ調査、方策策定

教育実習・
インターンシップ
調整専門部会

【アウトプット】登録日本語教師資格取得の推進、就職支援

【アウトカム】

- ① 研修の充実と能力の向上
- ② データに基づく日本語教師の養成・確保の課題の明確化と対応策の策定
- ③ 日本語教師資格取得者と関係機関への就職者の増加
- ④ 外国人子弟の学校現場・地域社会における学習等サポートの充実

成果

連携

【アウトプット】外国人子弟の学校現場・地域社会における学習等サポートのしくみの確立

金沢大学
外国人児童生徒の学習等サポート
についての連絡会議

事務局(担当：金沢大学国際学類
日本語教育プログラム)

事務局長

特任助教

連携

金沢大学
人間社会系
事務部の
各部署

中核となる拠点と
ネットワークの構築と波及による
課題解決

北陸地域における外国人との共生社会
の実現への寄与

連絡協議会・専門部会会議、ネットワークづくり

連絡協議会 総会の実施

日本語教師養成・研修推進拠点整備事業連絡協議会総会を実施
(2025年7月13日)

出席：20名(13機関)

教育実習・インターンシップ調整専門部会の実施 (2025年9月19日)

出席：8名

専門部会会議 の実施

ニーズ調査検討専門部会の実施 (2025年11月7日)

出席：委員6名,オブザーバー参加1名

外国人児童・生徒の学習等サポートについての連絡会議 (2025年12月19日)

出席：5名

教員研修専門部会の実施 (2026年2月12日)

出席：5名

ネットワークづくり

協議会会員の 加入

(公財)金沢国際交流財団の協議会加入 (2025年7月)

富山国際学院、一般財団法人北國新聞文化センターが加入を内諾

※2026年度総会で承認予定

計16機関へ
*「承諾予定」含む

部会委員の 就任

公益財団法人金沢国際交流財団職員が教育実習・インターンシップ調整専門部会委員に就任

金沢辰巳丘高等学校教員が外国人児童生徒の学習等サポートについての連絡会議委員就任を内諾

その他の連携

学校教育関係者との連携 (北陸三県の教育委員会が協議会会員、学校教員が委員就任見込み)

能美市国際交流協会との連携 (R6:研究会で登壇依頼、R7:聞き取り調査) →さらなる連携を視野に

教員研修専門部会

研究会の実施

25年度第1回研究会「学校教育×日本語教育-外国につながる子ども支援の可能性と課題」を実施（2025年7月13日）

25年度第2回研究会「居場所をつくる」
（外国につながる児童・生徒への支援）を実施（2026年2月22日）

富山大学での 講演実施

市嶋典子教授、古畑徹特任教授が金沢大学日本語教師養成研修推進拠点整備事業について講演（2025年8月1日）

第1回研究会「学校教育×日本語教育 外国につながる子ども支援の可能性と課題」

<https://jlt.w3.kanazawa-u.ac.jp/news013.html>

日本語教師養成・研修推進拠点整備事業
中部ブロック北陸地域 日本語教師養成・研修連絡協議会

金沢大学
KANAZAWA UNIVERSITY

2025年度 第1回 研究会
学校教育×日本語教育
外国につながる子ども支援の可能性と課題

金沢大学では令和5年度から文部科学省の「日本語教師養成・研修推進拠点整備事業」を受託しています。前年度同事業の一環で実施したシンポジウムでは、石川県、福井県、それぞれの高校で行われる外国につながる生徒への教育・支援について報告をいただきました。今回の研究会では「学校教育と日本語教育との連携」をキーワードの一つとして、それぞれの立場から各取組についてご報告いただきます。それを受け、今後、外国につながる子どもへの支援に必要な取り組みは何か、どのような課題があるか、子どもたちを支えるために学校教育と日本語教育とがどう連携していけるのかということを議論したいと考えています。興味のある方は、どなたでもご参加いただけます。

プログラム 受付開始 14:00

14:30	開会
14:35-14:55	福井県外国人児童生徒支援事業について 福井県教育庁義務教育課 主任 西海千香子氏
14:55-15:15	県立高校における外国人生徒等への支援について 石川県教育委員会事務局教職員課 担当課長 西村俊紀氏
15:15-15:45	日本語支援の現場の声から考える-辰巳丘高校の支援の事例から- 石川県立金沢辰巳丘高校 非常勤講師 奥村郁子氏 中尾ちひろ氏 別所瑞穂氏 芳川舞氏
15:45-15:50	休憩
15:50-16:25	質疑応答・全体ディスカッション
16:30	閉会

日時 2025年 7月13日(日) 14:30～16:30
開催形態 対面 及び オンライン(ZOOM)
会場(対面) 金沢大学西岡キャンパス 人間社会第1講義棟 201講義室 (2階)
*北鉄バスでお越しになる場合は「金沢大学」でお降りください。
*お車でお越しになる場合は、P駐車場またはC駐車場をご利用ください。

申込み QRコード/URLが6
申込ページにアクセスしてください。
<https://jlt.w3.kanazawa-u.ac.jp/news013.html>

お問合せ 日本語教師養成・研修推進拠点整備事業 (中部ブロック・金沢大学)
事務局 contact@jlt.w3.kanazawa-u.ac.jp

文部科学省 令和7年度 日本語教師養成・研修推進拠点整備事業

申込〆切 7/10(木)

参加者

対面：41名	オンライン：約80名
計 121名	

アンケート回答より

- 辰巳丘高校の現場の事例と教育委員会という行政との組み合わせがよかった。今後、教育委員会がより日本語教育に関心を持ち、支援体制が拡充していくと良いと思う。
- 現場の教師だけでなく、行政や地域の方々との連携の重要性を強く感じる。
- 現場で指導をしている人や保護者、学校側、教育委員会などがそれぞれの立場から感じている課題を話し合い、解決していく事が大切だと思った。
- 小中学校の状況と高校との連携の話があれば、もっと立体的な把握と、課題の深掘りに結びついたのではと思います。



第2回研究会「居場所をつくる」

<https://jlt.w3.kanazawa-u.ac.jp/news023.html>

金沢大学 KANAZAWA UNIVERSITY
日本語教師養成・研修推進拠点整備事業
中部ブロック北陸地域 日本語教師養成・研修連絡協議会

2025年度 第2回研究会 居場所をつくる

地域の日本語教室では、日本語学習の場としてだけでなく、学習者も支援者も共に学び、対話を通してお互いを理解する「居場所」としての役割を果たしています。今回の研究会では、この「居場所」をキーワードに、北陸の日本語教育や支援の場をフィールドとした調査と実践の報告をします。これらの報告をとおして、北陸地域の豊かな実践について知っていただくとともに、これからの日本語教育のあり方や役割について考える機会になればと考えています。テーマに興味のある方は、どなたでもご参加いただけます。

日時 2026年 2月22日(日) 14:00~16:30
開催方法 対面/オンライン(zoom)
会場(対面) 金沢大学角間キャンパス 人間社会第2講義棟 201講義室
プログラム 13:45 受付開始

14:00	開会
14:05~14:10	趣旨説明 市嶋 典子(金沢大学人間社会研究域国際学系 教授)
14:10~14:40	居場所としての日本語教室 -支援者と学習者への調査を通して- 藤井 真子(金沢大学 人間社会学域 国際学類 日本語教育コース 4年)
14:40~15:10	在日ブラジル人児童生徒の日本語教育における居場所の構築 DE AGUIAR AZEVEDO BRUNA(デ・アギアル・アゼヴェド・ブルーナ) (金沢大学 人間社会環境研究科 人間社会環境 [タイトルなし] 期課程1年)
15:10~15:55	「ここにいい」と思える場所づくり 清水ステファニーユキエ(NPO法人アレッセ高岡 事務局員) 青木 由香(NPO法人アレッセ高岡 理事長)
15:55~16:00	休憩
16:00~16:25	質疑応答
16:30	閉会

申し込み URL/QRコードから研究会のページを開き、申し込みフォームへアクセスしてください。
申し込み 〆切 2/19(木)
URL: <https://jlt.w3.kanazawa-u.ac.jp/news023.html>

お問い合わせ 日本語教師養成・研修推進拠点整備事業(中部ブロック・金沢大学) 事務局 contact@jlt.w3.kanazawa-u.ac.jp

文部科学省 令和7年度 日本語教師養成・研修推進拠点整備事業

参加者

対面：22名	オンライン：約40名
計 62名	

アンケート回答より

- 「学習支援」から「居場所」になっていることが共通していて、「居場所」は外国にルーツがある人たちだけじゃなく、日本人、そして支援する側も含めた「居場所」になっているというお話に深く共感いたしました。
- 日本語・学習支援の支援者側と参加者、参加者出身国からの研究者と異なる視点からの発表を聞くことが出来たので、より立体的に「居場所」ということについて考えることが出来、大変有意義でした。
- 質疑応答の内容も実践と研究の両方の視点からなされており、興味深く聞くことができた。
- 学習者、支援者の実際の声をたくさん聞けましたし、ご本人の体験、経験からのお話はとてもリアルで心に響きました。



金沢大学 日本語教師養成研修 推進拠点整備事業について

日程：令和7年8月1日(金) 13:00-14:30

会場：富山大学五福キャンパス事務局5階大会議室

講師：金沢大学

人間社会研究域 国際学系 市嶋 典子 教授

人間社会研究域 国際学系 古畑 徹 特任教授

スケジュール

13:00 開会あいさつ(齋藤学長)

13:10 講演

- ・日本語教師養成研修推進拠点整備事業について(事業の目的、現在の状況、今後の課題について)
- ・北陸地域における日本語教員養成の現状と課題(日本語教員の現状と課題などについて)

13:50 質疑応答

14:20 閉会あいさつ(鳥海理事)

参加者

約30名

富山大学学長、理事、国際機構関係教員、人文学部関係教員、教育学部関係教員等

内容

- ・事業概要の説明
- ・北陸地域における日本語教員養成の現状と課題の報告
- ・質疑応答
学校教育現場における外国人児童・生徒の現状、大学における留学生受け入れの課題などについて議論



- ・多様な専門分野の関係者と現状・課題を共有
- ・富山地域における日本語教育関連組織とのさらなる連携の必要性を確認



ニーズ調査検討専門部会

専門人材に関わる ニーズ把握 アンケート調査

東海・北陸地域の日本語学校における日本語教員の養成・採用に関するアンケート調査結果の公開（事業HP）、報告

- 連絡協議会総会(2025年7月13日)、交流会「日本語教育とキャリアプラン」(2025年11月19日)で報告
- 当事業ホームページで公開（2025年10月）

北陸地域の地域日本語教室に対するニーズ調査アンケート

- 質問項目案の作成
- 質問項目案についてニーズ調査検討専門部会で意見聴取
- 域内の地域日本語教室へアンケート配布、回収

能登地域に住む 外国人の ニーズ調査

七尾地域の外国人支援に長く携わっていらっしゃる方（七尾市国際交流協会 理事長）への聞き取り（2025年11月1日）

支援者への 聞き取り調査

能美市国際交流協会（石川県）の日本語教室見学、支援者5名へ聞き取り（2025年12月13日）

アレッセ高岡（富山県）理事長へ聞き取り（2026年1月25日）

卒業生への 聞き取り調査

日本語教員養成課程の修了生（現大学院生）2名、日本語教員養成課程修了見込みの卒業生11名（主専攻8名、副専攻3名）へキャリア意識について聞き取り（2026年1-2月）

日本語教師養成・研修推進拠点整備事業（中部ブロック 金沢大学）
令和6年度調査報告

東海・北陸地域の日本語学校における

日本語教員の養成・採用に関するアンケート調査

令和7年9月

北陸地域日本語教師養成・研修連絡協議会
ニーズ調査検討専門部会

【北陸地域のニーズ】
教育現場での即戦力（教授歴がある、
進学指導、就職支援が担当できる）

【東海地域のニーズ】
マネジメント力（社会人経験がある）

【北陸・東海地域に共通する課題】
日本語学校に対して学生が抱くイメージと
現実の日本語学校（実際の業務内容等）との
ギャップ

外国人児童・生徒への学習等サポート連絡会議

石川県、福井県の教育委員会との連携による 研究会実施

- 第1回研究会「学校教育×日本語教育-外国につながる子ども支援の可能性と課題」を実施（2025年7月13日）
- 石川県教育委員会、福井県教育委員会の方より、各県の外国人児童・生徒への支援事業について報告
 - 石川県立辰巳丘高等学校で支援を行う非常勤講師の方より実践内容と課題の報告
 - 登壇者、参加者とでディスカッション

学校教育関係者との情報交換・意見交換

- 外国人児童・生徒の学習等サポートについての連絡会議において、25年度第2回研究会の実施について検討（2025年12月）

教育実習・インターンシップ調整専門部会

日本語教育 実習の充実

- **多様な日本語教育実習の場を提供** ※[]内は令和7年度履修者数
日本語教育実習（大学留学生）[7名] 日本語教育実習（生活者）[10名]
日本語教育実習（日本語学校留学生）[2名] 日本語教育実習（児童・生徒）[3名]
海外日本語教育実習[6名]

- **専門学校アリス学園、日本語まなびサポート北陸、ハノイ国家大学外国語大学との連携による日本語教育実習の実施**
- **専門学校アリス学園と教育実習に関する協定を締結**
- **ハノイ国家大学外国語大学の日本語教師養成課程の学生との交流の開始**

日本語教育 インターンシップの 充実

- **日本語教育インターンシップ受け入れ機関の拡大**
「(公財)石川県国際交流協会」「専門学校アリス学園」に加え、
「専門学校ファースト学園」「富山国際学院」「(公財)金沢国際交流財団」
「東京早稲田外国語学校」がインターンシップ生受け入れを承諾
- **各機関と連携し、インターンシップを実施** ※[]内は令和7年度履修者数
(公財)石川県国際交流協会[2名]、専門学校アリス学園[1名]
専門学校ファースト学園[1名]、富山国際学院[1名]、東京早稲田外国語学校[1名]

交流会の実施

- **日本語教育を学ぶ人・知りたい人のための交流会**
「日本語教育とキャリアプラン」実施（2025年11月19日）

報告より

- 日本語教育に限らず、多文化共生や国際交流など幅広い分野に関心が広がった。教育現場での学びを基盤にしながらも、将来の可能性を多方面に見出す契機となったと感じている。（国際交流協会でのインターンシップ参加者）
- （インターンシップでの経験を通して）改めて地域社会における国際交流活動の重要性を実感した。国際交流は特別な場だけでなく、地域に根ざした取り組みの積み重ねによって成り立っていることを理解し、今後何らかの形で、地域における国際交流活動に積極的に関わっていききたいと考えている。（国際交流協会でのインターンシップ参加者）
- 日本語支援を行っているだけだと思っていたが、その業務は多岐にわたっていることを知った。生徒受け入れの見極め、生徒の国（現地）での試験の実施、入国前後の手続き、生活支援など、数えきれないほどの業務を少ない人数でこなしている。（日本語学校でのインターンシップ参加者）
- 5日間のインターンシップを通して、これまで漠然としていた卒業後の生活を具体的にイメージできるようになった。（日本語学校でのインターンシップ参加者）

インターンシップ報告会にあわせ、
受け入れ先の一つである東京早稲田外国語学校の
学校説明会を実施



参加者

13名

金沢大学学類生8名、大学院生3名

民間の日本語教師養成講座受講生1名、その他1名

参加者の声

- 実際の職場の様子など知らないことが多かったが、率直に話してもらうことができとても有意義だった。
- 日本語教師になることはあまり考えていなかったが、日本語学校の実際の様子がわかって進路の選択肢の一つとして考えているようになった。
- 大学院でもっと学びたいと思った。



金沢大学 KANAZAWA 令和7年度 日本語教師養成・研修推進拠点整備事業 (中部ブロック・北陸地域) 文部科学省

日本語教育を学ぶ人・知りたい人のための交流会
日本語教育とキャリアプラン

こんな人におすすめ

- 日本語教育を学び始める前にキャリアについても知っておきたい
- 日本語教育を学んだその先の進路に迷っている
- 日本語教育を学んだ先輩の経験談を聞いてみたい

どなたでも参加していただけます！

【調査報告】
日本語教師養成・研修推進拠点整備事業(中部ブロック 金沢大学) 令和6年度調査報告
東海・北陸地域の日本語学校における日本語教員の養成・採用に関するアンケート調査 報告
松倉 昂平 (金沢大学 人間社会研究域 国際学系)

【交流会】 日本語教育で学んだことを活かして活躍する若手ゲストスピーカーを招き、それぞれのリアルなキャリアについて話していただきます。

日本語教師 上田 いくみさん 専門学校アリス学園金沢校 日本語学科	国際交流協会職員 阿部 愛沙大さん (公財)金沢国際交流財団
青年海外協力隊経験者 松本 果穂さん 専門学校アリス学園金沢校 日本語学科	大学院生、留学経験者 西川 実希さん 金沢大学 人間社会環境研究科 国際学専攻 日本語教育・ 日本文化研究コース

日時： 2025年11月19日 (水)
16:30-18:00 調査報告/交流会
18:00-18:30 交流会(フリーセッション) ※自由参加

会場： 金沢大学 角間キャンパス
人間社会第1講義棟 302講義室 ※対面のみ

定員： 25名

【問い合わせ先】
日本語教師養成・研修推進拠点整備事業 (中部ブロック・金沢大学) 事務局
contact@jlt.w3.kanazawa-u.ac.jp

▶お申込み
<https://jlt.w3.kanazawa-u.ac.jp/news017.html>

※切： 11/17(月)

日本語教育主専攻の学生の進路・登録日本語教員資格取得状況

日本語教育主専攻の学生のキャリア意識

「これじゃない」「ここじゃない」「今じゃない」

卒業年度	人数	日本語教育関係の進路	それ以外の進路
2023年度	9名	<ul style="list-style-type: none"> 日本語学校1名(京都)、 金沢大学大学院進学(日本語教育学専攻) 1名 	<ul style="list-style-type: none"> 一般企業7名
2024年度	9名	<ul style="list-style-type: none"> 日本語学校3名(群馬、大阪、兵庫) 	<ul style="list-style-type: none"> 一般企業6名
2025年度	8名	<ul style="list-style-type: none"> 日本語学校1名(群馬) 国際交流基金パートナーズ1名 金沢大学大学院(日本語教育学専攻) 2名 	<ul style="list-style-type: none"> 一般企業3名 市役所1名
在学学生		海外志向 <ul style="list-style-type: none"> 日本語パートナーズ 参加中1名、参加予定1名 留学(インドネシア、タイ、イギリス、チェコなど) 	

変化の兆し?

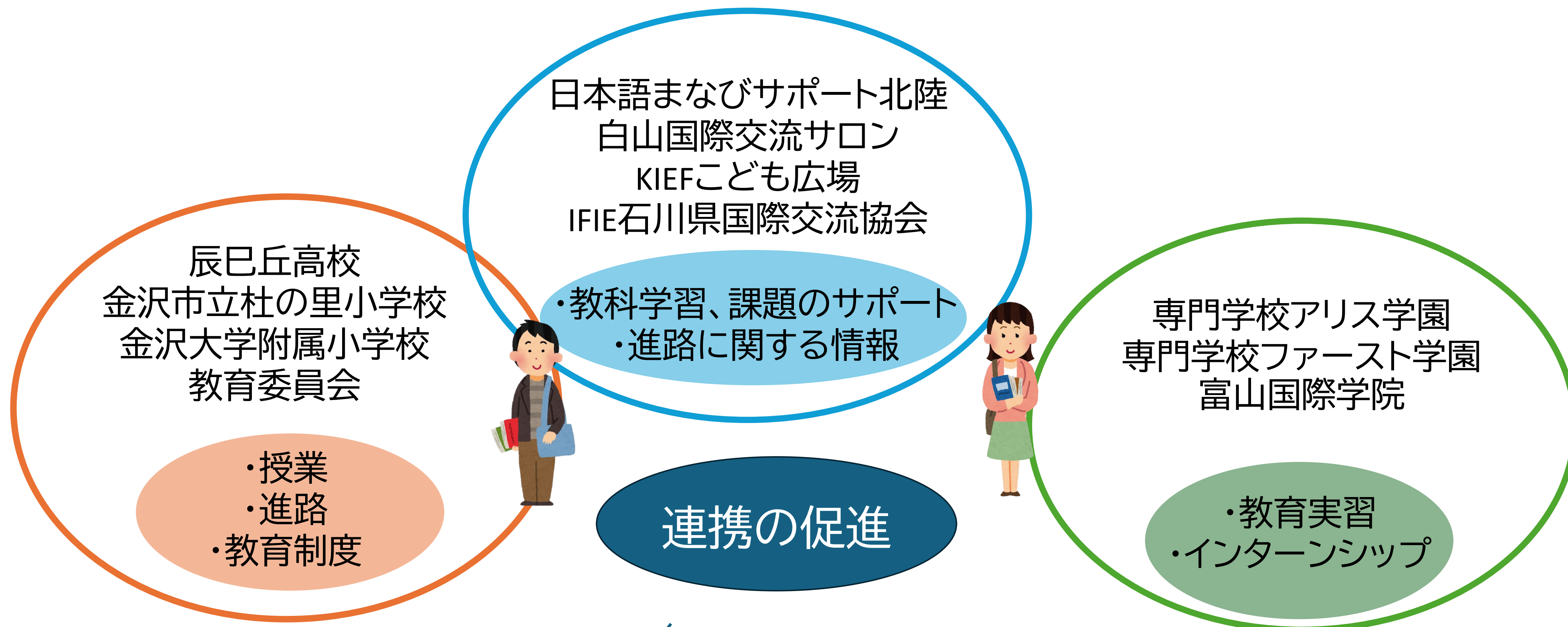
「北陸域内」での就職は依然として課題

登録日本語教員資格取得状況(2025年度卒業生)

区分	主/副	人数	資格取得(見込み)	試験不合格	未受験
2025年度卒業生	主専攻	8名	4名	0名	4名
	副専攻	9名	1名	0名	8名
日本語教育学専攻の大学院生		2名	2名	0名	0名

令和7年度日本語教員試験(基礎試験免除)受験者はすべて合格

「連携」の促進に向けて



日本語教育専攻の大学生・大学院生が地域の現場で活動することの意義:

学生が仲介となり、関係者間の交流や情報共有が活性化

中部ブロック・北陸地域の日本語教育と日本語教員養成

日本語教育専攻の学生の育成／活躍できる場のさらなる充実へ

- 学生も含めて実践や研究成果の発表ができる場としての研究会を開催
→学生にとっての学びの場、学生とさまざまな関係者が互いを知る場の構築
- 教育実習やインターンシップ、その他の機会をとらえ、学生と現場とを積極的につなぐ
→学生が日本語教育経験を積むことのできる場の構築
→学生が人材不足解消にも貢献
- 学校教育現場、教育委員会とのさらなる連携
- 就労者への日本語教育について知ることができる場の構築

小さなコミュニティだからできる
顔の見える連携

ここにいて良かったという実感、ここに残りたいと思える場

北陸域内での人材不足解消へ

日本語教師養成・研修 推進拠点整備事業

<https://jlt.w3.kanazawa-u.ac.jp/index.html>

金沢大学人間社会学域・研究域 受託事業

日本語教師養成 研修推進拠点 整備事業

お知らせ



【事業報告】



【お知らせ】



【事業報告】